

議会広報広聴委員会

令和 8 年 1 月 15 日（水）
午後 3 時 30 分～ 時 分
第 4 委 員 会 室

- 【出席者】大谷委員長、岡山副委員長、
西田一平委員、今田委員、遠藤委員、花田委員、戸津川委員、沖田委員、
笹田委員、岡本委員
【事務局】下間局長、村山書記
-

議題

1 はまだ議会だよりminiについて……………資料1

(1) 第43号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

2 令和8年度広報広聴の取組について……………資料2

(1) 令和8年度広報広聴の取組に関する協議

(2) その他

3 議会報告会について……………資料3

(1) 議会報告会の開催内容の協議

(2) その他

4 その他

○はまだ議会だより mini_43（3月1日発行）について

（カラー案（27）：新緑の黄緑をイメージ）

前回（1月1日発行）の記事

- ・ 新年の挨拶
- ・ 浜田市議会石見神楽振興議員連盟
- ・ 議員のつぶやき
- ・ 議長日誌

※掲載内容は2月1日発行予定の本紙とのバランスも勘案

- ・ 掲載項目案 ※2項目選定後、担当者決定

総務：行政視察（1/29～1/30）

文教：取組課題

産業：取組課題

広報：

議運：議員研修会（1/20）

その他：

- ・ 議員のつぶやき

- ・ 議長日誌案

1/18 第2次マグロ漁業実習出港式

1/25 第68回島根県書初め展特別賞表彰式

2/6 市長・議長と語る会

※原稿提出締切日 2月10日（火）13：00

令和 8 年度 広報広聴の取組に関する協議事項

○広報

- ・ はまだ議会だより 年 4 回発行 原則 16 ページ
- ・ はまだ議会だより mini 年 8 回発行 原則 1 ページ
- ・ 市議会 HP 更新 会議資料、動画、会議録、その他議会の取組を掲載
- ・ YouTube チャンネル すべての会議の公開

○広聴

- ・ 議会なんでもメール
- ・ 請願、陳情
- ・ ぎかいポスト

○イベント

- ・ 議会報告会（地域井戸端会）
- ・ はまだ市民一日議会（第 6 回）

○その他

- ・ SNS による情報発信

議会報告会実施案

(I) 実施形態

	A 案	B 案
概要	まちづくりセンター単位での実施 (R7 年度同様)。	市内中学校で実施
班編成	3 人／班	6 人～／班
会場数	26 か所 + α (各まちづくりセンター + α)	8 か所 (市内中学校)
実施時期	令和 8 年 5 月	令和 8 年 5 月
議員出席 頻度	4 か所	2 か所
メリット	より広域に意見を伺うことができる。	多様な議員構成で意見を伺うことができる。新たな層の参加者が期待できる。
デメリット	少ない人数で意見を伺う。	伺う地域が少ない。

- ・ 基本的にはテーマなし
- ・ いただいた意見は全員協議会で共有
- ・ 返答方法は議会だより及び浜田市議会 HP に掲載

地域井戸端会過去比較(参加者数・費用)

令和元年10月開催(8会場)

会場	参加人数	地域	地域合計人数
上府自治会館	14	浜田	39
長浜公民館	4		
美川公民館	16		
石見公民館	5		
久佐公民館	24	金城	24
和田公民館	27	旭	27
弥栄会館	31	弥栄	31
三隅公民館	5	三隅	5

令和7年5月開催(28会場)

地域合計人数	地域	参加人数	会場
35	浜田	9	浜田まちづくりセンター
		6	石見まちづくりセンター
		10	長浜まちづくりセンター
		6	国府まちづくりセンター
		2	周布まちづくりセンター
		3	美川まちづくりセンター
		4	大麻まちづくりセンター
		3	二反田団地集会所
		12	子育て世代包括支援センター
60	金城	6	雲城まちづくりセンター
		4	今福まちづくりセンター
		3	波佐まちづくりセンター
		8	小国まちづくりセンター
		4	久佐まちづくりセンター
		10	美又まちづくりセンター
60	旭	7	今市まちづくりセンター
		7	木田まちづくりセンター
		8	和田まちづくりセンター
		8	都川まちづくりセンター
		11	市木まちづくりセンター
10	弥栄	9	杵束まちづくりセンター
		6	安城まちづくりセンター
35	三隅	3	三隅まちづくりセンター
		3	三保まちづくりセンター
		8	岡見まちづくりセンター
		12	井野まちづくりセンター
		8	黒沢まちづくりセンター
		1	白砂まちづくりセンター

【参加人数】

地域	R元.10	R7.5	前回比
浜田地域	39	55	141%
金城地域	24	35	146%
旭地域	27	41	152%
弥栄地域	31	15	48%
三隅地域	5	35	700%
合計	126	181	144%

【費用弁償】

令和元年10月	⇒	令和7年5月
64,380円		144,411円
増金額		80,031円
増加率		144%